

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年7月15日 (2010.7.15)

【公表番号】特表2009-542602(P2009-542602A)

【公表日】平成21年12月3日 (2009.12.3)

【年通号数】公開・登録公報2009-048

【出願番号】特願2009-517275(P2009-517275)

【国際特許分類】

C 0 7 D 235/30 (2006.01)
 A 6 1 K 31/4184 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 A 6 1 P 25/28 (2006.01)
 A 6 1 P 9/10 (2006.01)
 A 6 1 P 9/06 (2006.01)
 A 6 1 P 11/06 (2006.01)
 A 6 1 P 25/22 (2006.01)
 A 6 1 P 25/14 (2006.01)
 A 6 1 P 17/14 (2006.01)
 A 6 1 P 13/10 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 A 6 1 P 11/00 (2006.01)
 A 6 1 P 1/04 (2006.01)
 A 6 1 P 1/10 (2006.01)
 A 6 1 P 25/08 (2006.01)
 A 6 1 P 25/24 (2006.01)
 A 6 1 P 15/08 (2006.01)
 A 6 1 P 1/14 (2006.01)
 A 6 1 P 3/10 (2006.01)
 A 6 1 P 1/06 (2006.01)
 A 6 1 P 27/16 (2006.01)
 A 6 1 P 9/12 (2006.01)
 A 6 1 P 37/02 (2006.01)
 A 6 1 P 25/04 (2006.01)
 A 6 1 P 25/06 (2006.01)
 A 6 1 P 15/10 (2006.01)
 A 6 1 P 29/00 (2006.01)
 A 6 1 P 25/16 (2006.01)
 A 6 1 P 21/00 (2006.01)
 A 6 1 P 25/26 (2006.01)
 A 6 1 P 25/18 (2006.01)
 A 6 1 P 13/12 (2006.01)
 A 6 1 P 27/02 (2006.01)
 A 6 1 P 11/16 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 235/30 C S P B
 A 6 1 K 31/4184
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 A 6 1 P 25/28
 A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/06
A 6 1 P 11/06
A 6 1 P 25/22
A 6 1 P 25/14
A 6 1 P 17/14
A 6 1 P 13/10
A 6 1 P 35/00
A 6 1 P 11/00
A 6 1 P 1/04
A 6 1 P 1/10
A 6 1 P 25/08
A 6 1 P 25/24
A 6 1 P 15/08
A 6 1 P 1/14
A 6 1 P 3/10
A 6 1 P 1/06
A 6 1 P 27/16
A 6 1 P 9/12
A 6 1 P 37/02
A 6 1 P 25/04
A 6 1 P 25/06
A 6 1 P 15/10
A 6 1 P 29/00
A 6 1 P 25/16
A 6 1 P 21/00
A 6 1 P 25/26
A 6 1 P 25/18
A 6 1 P 13/12
A 6 1 P 27/02
A 6 1 P 11/16

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月31日(2010.5.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

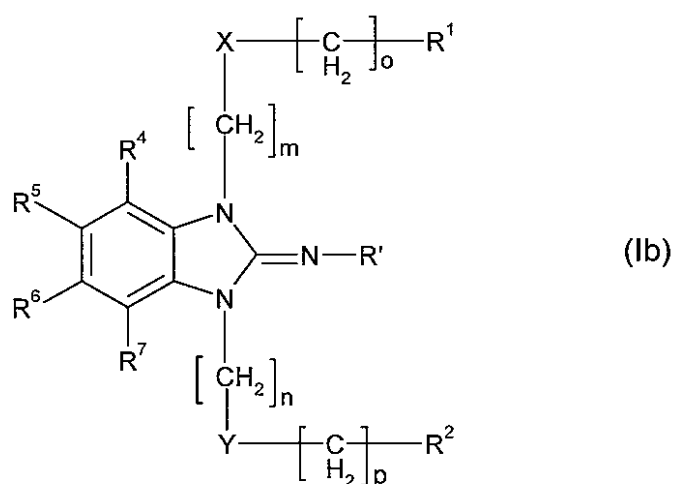
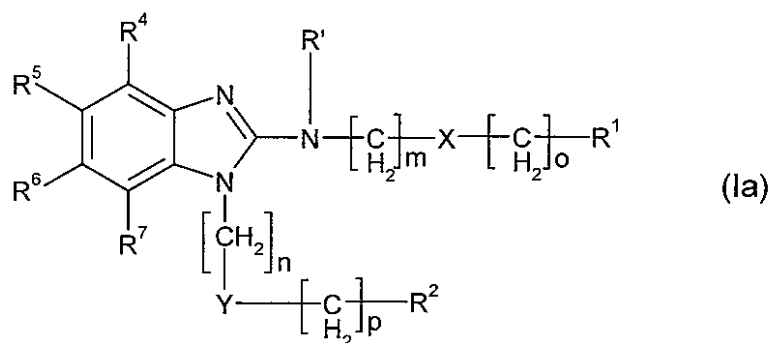
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 I a 又は I b :

【化 1】



の 2 - アミノベンズイミダゾール誘導体、

又はその任意の異性体若しくはその異性体の任意の混合物、又はその医薬として許容できる塩 [式中、

m は、0、1 又は 2 であり；

n は、0、1 又は 2 であり；

o は、0、1 又は 2 であり；

p は、0、1 又は 2 であり；

X 及び Y は、互いに独立に、CH₂、S、O 又は NR^{''} を表し；ここで、R^{''} は、水素又はアルキルを表し、ただし、X 及び Y は、両方ともに CH₂ を表すことができず；

R['] は水素又はアルキルを表し；

R¹ 及び R² は、互いに独立に、フェニル基を表し、このフェニル基は、ハロ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、シアノ及びアルキルからなる群から独立に選択される 1 個又は複数の置換基で場合によって置換されており；

R⁴、R⁵、R⁶ 及び R⁷ は、互いに独立に、水素、ハロ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、シアノ、アルキル、アルコキシ、アミノ、N - アルキル - アミノ及び N, N - ジアルキル - アミノからなる群から選択される]。

【請求項 2】

m が、0、1 又は 2 である、請求項 1 に記載の 2 - アミノベンズイミダゾール誘導体、又はその医薬として許容できる塩。

【請求項 3】

n が、0、1 又は 2 である、請求項 1 又は 2 に記載の 2 - アミノベンズイミダゾール誘導体、又はその医薬として許容できる塩。

【請求項 4】

o が、0、1 又は 2 である、請求項 1 から 3 までのいずれか一項に記載の 2 - アミノベンズイミダゾール誘導体、又はその医薬として許容できる塩。

【請求項 5】

p が、0、1 又は 2 である、請求項 1 から 3 までのいずれか一項に記載の 2 - アミノベンズイミダゾール誘導体、又はその医薬として許容できる塩。

【請求項 6】

X 及び Y が、互いに独立に、 CH_2 、S、O 又は NR'' を表し；ここで、 R'' は、水素又はアルキルを表し、ただし、X 及び Y が、両方ともに CH_2 を表すことができない、請求項 1 から 5 までのいずれか一項に記載の 2 - アミノベンズイミダゾール誘導体、又はその医薬として許容できる塩。

【請求項 7】

R' が水素又はアルキルを表す、請求項 1 から 6 までのいずれか一項に記載の 2 - アミノベンズイミダゾール誘導体、又はその医薬として許容できる塩。

【請求項 8】

R^1 及び R^2 が、互いに独立に、フェニル基を表し、このフェニル基が、ハロ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、シアノ及びアルキルからなる群から独立に選択される 1 個又は複数の置換基で場合によって置換されている、請求項 1 から 7 までのいずれか一項に記載の 2 - アミノベンズイミダゾール誘導体、又はその医薬として許容できる塩。

【請求項 9】

R^4 、 R^5 、 R^6 及び R^7 が、互いに独立に、水素、ハロ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、シアノ、アルキル、アルコキシ、アミノ、N - アルキル - アミノ及び N, N - ジアルキル - アミノからなる群から選択される、請求項 1 から 8 までのいずれか一項に記載の 2 - アミノベンズイミダゾール誘導体、又はその医薬として許容できる塩。

【請求項 10】

[2 - (4 - フルオロフェノキシ) エチル] - { 1 - [2 - (4 - フルオロフェノキシ) エチル] - 1 H - ベンゾイミダゾール - 2 - イル } アミン；

1, 3 - ビス - [2 - (4 - フルオロフェノキシ) エチル] - 1, 3 - ジヒドロベンゾイミダゾール - 2 - イリデンアミン；

1, 3 - ビス - (4 - クロロフェニルスルファニルメチル) - 1, 3 - ジヒドロベンゾイミダゾール - 2 - イリデンアミン；

1, 3 - ビス - (4 - クロロフェノキシメチル) - 1, 3 - ジヒドロベンゾイミダゾール - 2 - イリデンアミン；若しくは

1, 3 - ビス - ベンジルオキシメチル - 1, 3 - ジヒドロベンゾイミダゾール - 2 - イリデンアミン；

又はそれらの医薬として許容できる塩である、請求項 1 に記載の 2 - アミノベンズイミダゾール誘導体。

【請求項 11】

請求項 1 から 10 までのいずれか一項に記載の 2 - アミノベンズイミダゾール誘導体、又はその任意の異性体若しくはその異性体の任意の混合物、又はその医薬として許容できる塩の治療有効量を、医薬として許容できる少なくとも 1 種の担体、賦形剤又は希釈剤と共に含む医薬組成物。

【請求項 12】

請求項 1 から 10 までのいずれか一項に記載の 2 - アミノベンズイミダゾール誘導体、又はその任意の異性体若しくはその異性体の任意の混合物、又はその医薬として許容できる塩を含む医薬。

【請求項 13】

SK チャネルの調節に反応する、ヒトを含む哺乳動物の疾患、障害又は状態の治療、予防又は緩和用の、請求項 12 に記載の医薬。

【請求項 14】

S Kチャネルの調節に反応する疾患、障害又は状態が、アブサンス発作、加齢による記憶喪失、アルツハイマー病、狭心症、不整脈、喘息、不安、運動失調、注意欠陥障害、脱毛症、双極性障害、膀胱興奮性亢進、膀胱排出障害、膀胱けいれん、脳腫瘍、脳虚血、慢性閉塞性肺疾患、癌、心血管障害、認知機能障害、大腸炎、便秘、けいれん、冠動脈けいれん、冠動脈性心疾患、嚢胞性線維症、認知症、うつ病、I I型糖尿病、月経困難、てんかん、胃腸障害、胃食道逆流症、胃腸運動性減弱、胃腸運動不全、難聴、高インスリン血症、高血圧、免疫抑制、炎症性腸疾患、炎症性疼痛、間欠性跛行、過敏性腸症候群、虚血、虚血性心疾患、学習欠陥、男性勃起不全、躁うつ病、記憶障害、片頭痛、気分障害、運動ニューロン疾患、ミオキミア、筋緊張性ジストロフィー、筋緊張性筋ジストロフィー、ナルコレプシー、神経因性疼痛、疼痛、パーキンソン病、多発性嚢胞腎、術後イレウス、早産、精神病、精神障害、腎障害、レイノー病、鼻漏、分泌性下痢、発作、シェーグレン症候群、睡眠時無呼吸、痙攣、睡眠障害、卒中、外傷性脳損傷、三叉神経痛、尿失禁、泌尿生殖器障害、血管けいれん、失明又は口腔乾燥である、請求項 13 に記載の医薬。